

心あたたまる道祖神の願い

富士見の景観



入笠山のふもと、栗生新田は、寛永2年（1625）に、御射山神戸から嘉右衛門と妻とが来て、開拓したことに始まる。それから20年ほどして、青柳の八右衛門が続いて開拓した。さらに御射山神戸より来た権右衛門が、栗生の地の開発を願って「草分証文」をもらうことになるが、証文をめぐる歴史は長く、明治維新まで続く。

栗生の中心には、村人が大切にしてきた、道祖神や石碑などが集められている。中でも、150cmほどある祠の中に「祝言像」の立派な道祖神がある。一つの石に仲良く寄り添っている姿は、良縁・豊作など、育みの願いを意味する。また祠の両側面や正面には物語が刻まれていて、皆で助け合って生きていくことの大切さを願っていることがわかる。

いまも、暮らしに欠かせない豊かな水があり、八ヶ岳連峰の美しい眺めが訪れる人を迎えてくれる。こどもを獣から守りながら開墾してきた先人たちは、この魅力にひかれ、この地をえらんだのであろう。

【選定・評価

加々見一郎氏】



集落の中心に集められている祠や石仏



道祖神の社に掘られた物語絵

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

広告

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成27年1月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性/7,407人(+10) 女性/7,718人(-3) 合計/15,125人(+7) 世帯/5,877世帯(+17)
- ◆発行日 平成27年2月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷